

2024 Profile of the Hokkaido
Municipality Promotion Foundation

協会案内

2024



公益財団法人
北海道市町村振興協会

Hokkaido Municipality Promotion Foundation

はじめに



公益財団法人 北海道市町村振興協会
理事長 原田 裕

北海道市町村振興協会は、昭和54年3月に「市町村振興宝くじ（通称：サマージャンボ宝くじ）」の発売収益金を、市町村振興事業や災害対策のために活用する財団法人として設立され、平成24年4月からは公益財団法人として活動しています。

この間、当協会は、「サマージャンボ宝くじ」の発売収益金を基金として積み立て、これを有効に運用し、道内市町村の振興のために、公共施設整備に対する貸付をはじめ、地域の課題に対応した調査研究や市町村職員等の研修の実施・支援、地域イベント等への助成などの各事業を積極的に推進するとともに、平成13年度に新設された「新市町村振興宝くじ（通称：ハロウィンジャンボ宝くじ）」の発売収益金全額を、公共事業のほか、地域における環境の保全や経済の活性化、少子・高齢化に対応する施策などのソフト事業にご活用いただくため、市町村へ交付しています。

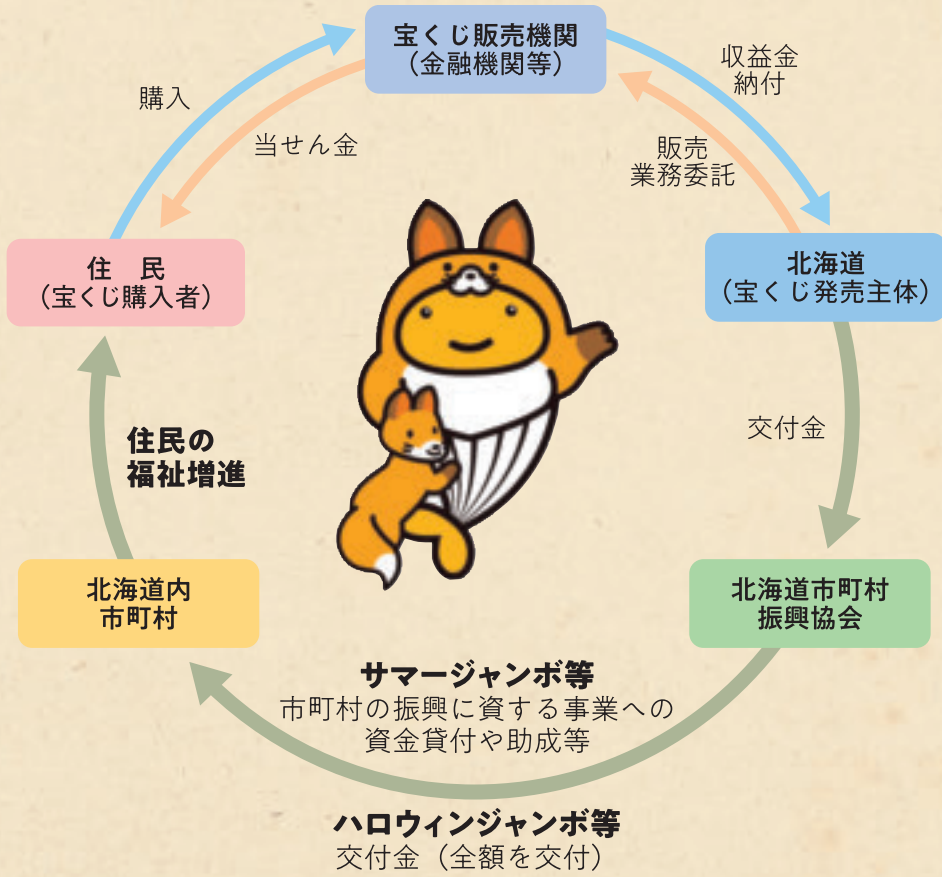
令和6年度は、当協会設立45周年の節目の年に当たることから、「北海道市町村長交流セミナー」を記念事業として開催するとともに、記念誌を発行することとしております。また、地域の活性化を図るための特色ある事業を支援する「いきいきふるさと推進事業助成金」では、現在、市町村の喫緊の課題である自治体DX及び地球温暖化対策の推進並びに地域交通の確保に向けた取組を重点的な助成の対象としたほか、地域の未来を担う子どもたちの人材育成を支援するため、新たに「未来を創る子ども応援事業助成金」を創設しております。このほか、市町村職員の資質向上や人材育成を図るため、外国派遣研修や国内研修のほか、政策力形成のためのゼミナールの実施、政策情報誌「プラクティス」の発行など、今後ともより一層、市町村の振興・発展のために各種事業を展開し、市町村の各般の取組にお役に立てるよう努めてまいります。

皆様方のより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

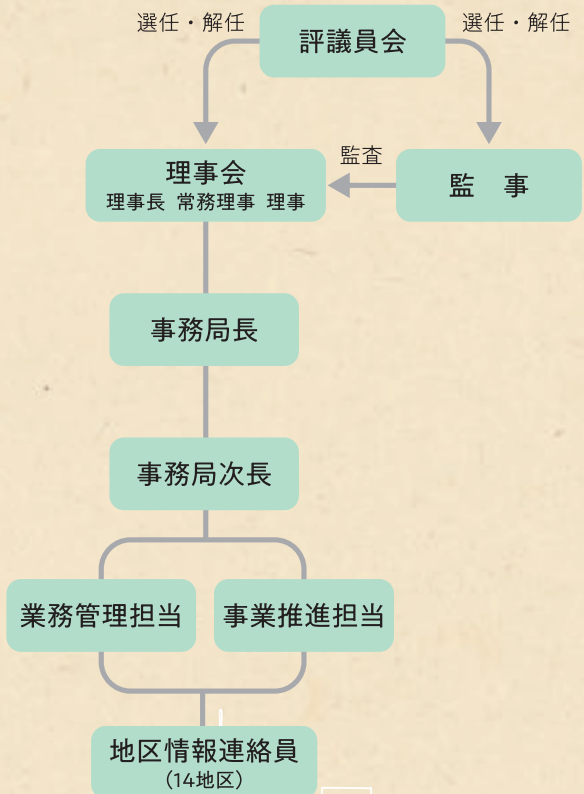
令和6年（2024年）7月



市町村振興宝くじの仕組み



組織図



役員等名簿 (令和6年7月1日現在)

評議員

評議員	加藤剛士	名寄市長
評議員	前田康吉	滝川市長
評議員	工藤昇	上ノ国町長
評議員	宮坂尚市朗	厚真町長
評議員	坂野智	千歳市議会議長
評議員	富田忠行	白糠町議会議長
評議員	照井レナ	日本医療大学総合福祉学部 介護福祉マネジメント学科教授

役員

理事長	原田裕	恵庭市長
常務理事	柏木文彦	公益財団法人 北海道市町村振興協会事務局長
理事	荻原貢	芦別市長
理事	宮本憲幸	初山別村長
理事	裕一寿	興部町長
理事	出井浩義	北海道市長会事務局長
理事	柴田達夫	北海道町村会常務理事
監事	三井一敏	北海道市町村備荒資金組合副組合長
監事	藤野一清	北海道町村議会議員 公務災害補償等組合副組合長

協会資金の貸付と交付金の交付により、 個性豊かな地域づくりを応援します

資金貸付事業 **Loans**

市町村が行う施設等整備事業（長期）及び災害対策事業（短期）のために、振興協会資金を貸し付けします。

資金の長期・短期貸付

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 貸付予定枠
長期貸付金 80億円
短期貸付金 5億円 ● 貸付対象事業
長期貸付金 公共施設整備事業等
短期貸付金 災害関連事業 ● 貸付利率
年3%未満
(財政融資資金の貸付金利に応じて特例利率を設定) | <ul style="list-style-type: none"> ● 貸付時期（長期貸付金）
年2回（5月、3月） ● 償還方法
長期貸付金 償還期限は15年以内若しくは20年以内
(いずれも据置期間3年以内)
半年賦元金均等償還（9月、3月）
短期貸付金 貸付年度内一括償還 ● その他（長期貸付金の貸付限度額）
原則1団体（事業）5億円 |
|--|---|

令和5年度の主な事業紹介 | Major Projects in FY 2023 (貸付総額：4,668,900,000 円)

大沼球場省エネルギー化改修事業（稚内市）

稚内市大沼球場は、声間地区にある北海道立宗谷ふれあい公園に隣接した稚内運動公園の中核施設として平成6年に建設しました。

収容人員7千人、両翼95m、センター120mのメイン球場と同規模のサブ（第2）球場からなっており、稚内市内の少年団やクラブチーム、一般リーグ、軟式野球北海道大会などで広く利用されています。

本事業では、施設の省エネルギー化を目的に、大沼第2球場の照明をLEDへ更新する改修工事を実施しました。



登別市情報発信拠点施設整備事業（登別市）

登別市では、豊かな地域資源、文化等を広く情報発信することにより、観光をはじめとした産業、文化等の振興を図るとともに、市民活動及び市民と観光客の交流により、地域の賑わい創出を図るため、令和5年3月に登別市観光交流センター（愛称：ヌブル）を開設しました。

1階には、登別市内はもとより、全道各地の観光やアイヌ関連情報を発信する案内機能や、物販・テナントスペース、市役所支所機能を整備したほか、2階には市民等の活動の場としてコミュニティ機能を整備し、開設以降、多くの市民や観光客が訪れています。



大空高等学校寄宿舎整備事業（大空町）

大空町では、令和3年に新たな町立高校「北海道大空高等学校」を開校しました。旧東藻琴高校時代の寮を使い、全国から生徒を受け入れていましたが、築50年以上が経過し老朽化や耐震性などの課題を抱えていました。

新たに建設した大空高等学校交流拠点施設は、寮としての機能のほか、高校を核とした人材育成と地域づくりを实践する拠点として、高校生のための公設塾や、地域住民との交流事業、講師などを招いた特別講習など高校生と様々なヒト・モノ・コトをつなぐ施設として活用しています。



柳町小学校大規模改修事業（音更町）

柳町小学校は建築後40年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいたため、大規模改修を実施しました。

内装材と建具・家具類の全面的な改修により安全性と快適性、トイレの床を湿式から乾式にしたことにより衛生面が向上しました。また、職員室と昇降口の家具形状の工夫やバリアフリートイレの設置、給食室面積の拡張と調理機器の新調により利便性と作業効率の向上につながりました。

本事業により、児童は今まで以上に学校生活を安全かつ快適に過ごすことができるようになりました。



市町村交付金事業

Municipal Grants

市町村が行う地域振興事業のために、市町村交付金を交付します。

●新市町村振興宝くじ（ハロウィンジャンボ宝くじ）市町村交付金

北海道から当協会に交付されるハロウィンジャンボ宝くじ・ミニ、クイックワン9月発売月号分の収益金等の全額を、市町村交付金として札幌市を除く全道市町村に交付します。

●市町村振興宝くじ（サマージャンボ宝くじ）市町村交付金

北海道から交付されるサマージャンボ宝くじ・ミニ、クイックワン8月発売月号分の収益金等及び貸付償還元金を積み立てている基金の一部を取り崩し、市町村振興宝くじの販売促進に向けた広報実績に応じた額を札幌市を除く全道市町村に交付します。

●交付金の使途

地方財政法（昭和23年法律第109号）第32条に規定する事業

令和5年度の主な事業紹介 | Major Projects in FY 2023

（新市町村振興宝くじ交付金：700,306,397円 市町村振興宝くじ交付金：514,800,000円）

郷の駅運営費に活用しました（喜茂別町）

喜茂別町は国道230号線と国道276号線が交差し、都市部へのアクセスが良好な立地環境にあります。

町の観光行政を発展させるため、令和元年度に民間事業者から「郷の駅ホッとときもべつ商業施設」を取得し、令和2年度から民間事業者への委託により、運営を行っています。

本事業により、観光客入込数が増加し、町の活性化に繋げることができました。

今後も継続して創意工夫をこらした運営を行い、町の発展を図ってまいります。



地域の人づくりのため、各種研修会を開催します



研修事業

Training Seminars

地域づくりを担う人材育成と資質向上を図るため、各種の研修事業を実施します。

●北海道市町村長交流セミナー

市町村長を対象に、当面する政策課題をテーマとして研修会を開催します。

●市町村職員外国派遣研修

諸外国における行政実情や地域づくり等の先進事例を視察調査し、総合的行政能力の向上や国際的視野と識見をもった人材を養成することを目的とした研修を実施します。

●市町村職員国内先進事例研修

道内外市町村の個性豊かな地域づくりや行政課題解決に向けた取組などを学び、今後の地域づくりや自治体運営等に資することを目的とした研修を実施します。

●市町村職員政策研修会

市町村職員等を対象に、地域の振興施策に関する知識を深め、その政策能力の一層の向上を図り、市町村の活性化に寄与することを目的とした研修会を開催します。

●市町村職員政策力形成ゼミナール

市町村職員の政策力形成のため、ゼミナール形式の研修を実施します。

●市町村職員研修センター運営費負担

市町村職員研修を実施する北海道市町村職員研修センターの運営に要する経費を負担します。

令和5年度の主な事業紹介

Major Projects in FY 2023

北海道市町村長交流セミナー

- ・開催日：令和5年7月13日（木）
- ・開催場所：札幌市（ホテルポールスター札幌）
- ・セミナーの内容
 - 講演Ⅰ「地域資源を活かした脱炭素なまちづくり～まちの課題から考える」
北海道大学大学院工学研究院環境工学部門教授 石井 一英 氏
 - 講演Ⅱ「エネルギーと地域政策」
北海道文教大学地域創造研究センター長 小磯 修二 氏
- ・参加者：180名



市町村職員国内先進事例研修

- ・実施期間：令和5年10月30日（月）～11月1日（水）
- ・研修先及び研修テーマ
 - 当別町：「チャットGPT」を活用した業務効率化
 - 栗山町：ものづくりを通じた住民協働のまちづくり等
 - 札幌市（北海道大学スマート農業教育研究センター）
：最先端技術を活用した農業を取り巻く課題解決
 - 安平町：地域一体型の子どもが主役となるまちづくり
- ・参加者：市町村職員17名、事務局職員3名



市町村職員政策研修会

- ・開催日：令和5年11月9日（木）
- ・開催場所：札幌市（ホテルポールスター札幌）
- ・研修内容 講演 「DX時代の人材育成について」
早稲田大学大学院 政治経済学術院教授 稲継 裕昭 氏
- 事例報告 「道内自治体におけるまちづくりDXの事例について」
東日本電信電話株式会社 笠松 智 氏
- ・参加者：115名



魅力ある地域づくりのための助成を行います

助成事業

Subsidies

市町村などが地域の活性化のために実施する各種事業に対して助成します。

また、広域消防航空応援経費に対する交付金や災害復旧対策の促進のための見舞金を交付します。

いきいきふるさと推進事業助成金

地域の課題に対応し、地域の活性化を図るために観光振興や地場産業の振興などの政策課題に基づき、市町村又は市町村が関与する実行委員会等が広域的又は小規模（単独）で実施する特色あるイベントや試験研究事業などのソフト事業等に対して助成します。

先駆的調査・実証プロジェクト推進事業助成金

市町村が人口減少や高齢化など、地域の政策課題の解決方策について調査研究・実証実験を行う事業で、他の地域のモデルになると認められる事業に対して助成します。

未来を創る子ども応援事業助成金（新規事業）

地域の小・中・高生を対象としたシビックプライドの醸成や国際理解教育をはじめ、地球環境問題や科学・先端技術教育といった地域の未来を担う子ども達の人材育成に要するソフト事業に対して助成します。

地域づくりセミナー開催助成金

地域住民や自治体職員が地域づくりを推進するためのセミナーを自主的に開催する市町村に対し、当該セミナーの開催に要する経費について助成します。

市町村アカデミー等研修受講助成金

市町村職員中央研修所及び全国市町村国際文化研修所が実施する研修の受講に要する経費について、当該受講生を派遣した市町村等に助成します。

広域消防航空応援交付金

北海道広域消防相互応援協定に基づく航空応援に要した経費について交付します。

災害見舞金

災害救助法の適用区域に指定された市町村に対し、災害規模及び態様に応じて見舞金を交付します。

市町村自治関係5団体助成金

市長会、町村会、市議会議長会、町村議会議長会及び町村等監査委員協議会が実施する研修事業等に対して助成します。



令和5年度の地域づくりセミナー開催支援事業紹介

Major Projects in FY 2023

岩内町SDGsセミナー（岩内町）

SDGsの基礎知識や思考方法などを学ぶとともに、地域全体のSDGsに対する意識の醸成及び地域課題の共有を図ることを目的に「岩内町SDGsセミナー」を開催し、民間事業者や町職員、計18名が参加しました。

今回のセミナーでは、ワークショップデザインdescribe withの高橋優介氏によるSDGsの概要や取組事例、現状についての講義後、カードを用いたワークショップを体験しSDGsとまちづくりの関係性について理解を深めました。



脱炭素みらいキャンパス（釧路町）

釧路町内の脱炭素化に向けた取組み意識の醸成のため、若手の町民を対象に脱炭素みらいキャンパスを開催し、町民22名、町職員4名が参加しました。

基調講演として北海道大学大学院の山中康裕教授から、地球温暖化のメカニズムや原因、世界的な大企業の脱炭素化への取組が進んでいる実態など、省エネルギーや再生可能エネルギーについて理解を深めました。

また、ワークショップでは、「キャンパス場ゼロエネ化プロジェクト」や「町民参加型EVカーシェア」などをテーマに、具体的な政策の意見交換を行いました。



寒地稲作成功150周年記念事業（北広島市）

北広島市島松で中山久蔵が寒地稲作に成功してから150周年となることを記念して「記念フォーラム」を開催し、北広島市から247名、大阪府太子町から40名が参加しました。北海道米の礎を築いた久蔵の事績を学び、その精神や志を後世に伝えていくことができました。

また、久蔵が稲作に成功した島松沢周辺地域の歴史と観光スポットを紹介するパンフレットを作成しました。「市民ジュニア研修交流事業」では、久蔵のふるさとである大阪府太子町への小中学生派遣などを実施しました。



長万部町・黒松内町・豊浦町3町連携プロジェクト事業 （長万部町・黒松内町・豊浦町）

渡島・後志・胆振各管内の境界に位置する長万部町・黒松内町・豊浦町の3町は、北海道新幹線長万部駅開業効果を最大限に高めることを目的に、観光や交通アクセス、産業振興の推進等で連携するため、「はしっこ同盟」を締結しました。

札幌市のセンチュリーロイヤルホテルと提携し、館内レストランでの3町の特産品を使用した食事の提供や、ホテルロビーでのPRパネル展、PRパンフレットの設置により、道内外の来場者に対して、誘客促進と魅力を発信し、地域活性化に寄与することができました。



南幌町青少年異世代交流運営事業（南幌町）

南幌町では、中高生を対象に、夏休みの5日間「まなび場ぼろろ」を開催しました。

「まなび場ぼろろ」は、道内外から集まった大学生や社会人が、生徒と一緒に勉強し、日々の悩みに向き合うなど、自分の将来について考える新しい学びの場です。AIツールを使ったワークショップや大学生が学んでいる科目を話す「大学生レシピ」など、普段体験することができない内容に、生徒は新たな気づきや学びを得ることができました。



青年部連携地域活性化実行委員会事業（遠別町）

遠別町内各青年部員（商工・農協・漁協・役場等）68名で構成する青年部連携地域活性化実行委員会「和遠（わえん）」は、遠別町内の各種イベントの参加、小学生職業体験事業や高齢者宅除雪事業など幅広く活動し、地域活性化に欠かせない存在です。

今回で2回目となる「2023遠別川夏まつり」は、地域「内」の活性化はもちろんのこと、会場を町の顔である「道の駅えんべつ富士見」とし、イベントのフィナーレを飾った花火大会をライブ配信するなど、地域「外」へ遠別町の魅力を発信しました。



イングリッシュアドベンチャー事業（伊達市）

伊達市では、児童・生徒の異文化理解や国際感覚を育むため、コミュニケーション英語を用いた体験やALT（外国語指導助手）との交流活動等を実施しました。

生徒を対象としたコースでは、夏休み中の2日間の日程でラフティング等の自然学習を交えながら英語を用いたアクティビティを体験しました。また、児童を対象としたコースは、9月下旬に1日で開催し、伊達市近郊の森・川に生息する生きものなどを英単語で表現しながら、自然学習を体験しました。



「第50回ひだか樹魂まつり」周年記念開催事業（日高町）

郷土芸能の保存継承と観光産業振興を目的に町の一大イベントとして「第50回ひだか樹魂まつり」を実施しました。

木遣りの放映と日高山岳太鼓の共演や流送レースなどのプログラムのほか地場産品の販売などで町内外から延べ7千人の来場者で賑わい、フィナーレの沙流川花火大会は音と大きさに会場が感動で包まれました。

事業を通じて、飲食店や商業施設など地域観光産業への幅広い経済波及効果が生まれ、地域の活性化につながりました。



酪農学園大学連携協定事業（中標津町）

中標津町の農畜産物を使用した新たな特産品の開発を目的に、酪農学園大学との共同で新商品の開発を行いました。

中標津町畜産食品加工研修センターでは「なかしべつミルクポーグ」を使用した生ハム、サラミの開発を行い、独自の製造方法を確立した新たな特産品が生まれました。

中標津農業高等学校では「もちりっとサンド」の開発を行い、高校生がもち麦を使ったパンを、大学生が大根を使った具材を考案しました。完成した2種類のパンは、町内で行った販売会において数分で完売するほどの人気を博しました。

この事業を通じて、地場産品のPRと地域の活性化につながりました。



令和5年度の先駆的調査・実証プロジェクト推進事業紹介 | Major Projects in FY 2023

釧路町・標茶町広域連携ブランド化推進事業（釧路町、標茶町）

釧路町と標茶町では、両町の特産品を活用した製品開発や地球環境への影響研究のひとつとして、昆布や未利用海藻の飼料化試験を行い、飼料化した海藻を牛に与え、牛が排出するメタンガス（げっぶ）の抑制効果、更には経産牛等のテーブルミート化を探る調査・研究を実施しました。

事業実施により、未利用海藻の飼料としての活用の可能性が実証されたほか、牛のメタンガス（げっぶ）抑制に明確な効果は確認できなかったものの、肝機能改善に効果を発揮する可能性が示唆されました。また、経産牛等の特性に応じた試作等を行い、一部は販売されるなど一定の成果が認められました。



活力ある地域づくりのための政策課題等に関する 調査研究や情報収集・資料提供を行います

調査研究事業 **Investigative Research**

市町村共通の政策課題等について調査研究し、その成果を市町村等に提供します。

- **協会設立45周年記念誌発行事業「地域政策の新たな潮流を探る」**
一般社団法人地域研究工房の小磯修二代表と道内外の識者が、交通政策や福祉政策等将来の北海道の地域政策について対談した内容を編纂し、当協会設立45周年記念誌として発行します。
- **新規課題調査事業**
今後の調査研究事業として検討すべき課題を抽出するための基礎的調査を実施します。

令和5年度の主な事業紹介 | Major Projects in FY 2023

地域づくり事例集作成事業（令和5年11月発行、B5変形判1,500部）

市町村の喫緊の課題である地球温暖化対策に取り組む市町村の担当事者に向けて、小冊子「脱炭素社会実現のためのガイドブック—このマチの脱炭素物語。」を作成しました。

また、当協会ホームページには、自治体や専門家のインタビューの詳細を掲載しました。



市町村職員政策力形成に関する調査研究事業

市町村職員の政策力形成のため、一般社団法人地域研究工房の小磯修二代表が主任講師を務めるゼミナール形式の研究会を実施しました。（令和6年度は研修事業として実施）

- **第1回政策力形成ゼミナール**
 - ・開催日：令和5年8月24日（木）～8月25日（金）
 - ・研修内容
 - 講義 「北海道における地域政策の系譜」
「北海道の地域経済構造の特性」
「地域分析の手法－EBPMの視点－」
「人口減少時代の地域政策」
 - ・参加者：市町村職員11名
- **第2回政策力形成ゼミナール**
 - ・開催日：令和5年10月26日（木）～10月27日（金）
 - ・研修内容
 - 講義1 「市町村における観光政策の課題と戦略」
國學院大學観光まちづくり学部教授 塩谷 英生 氏
 - 講義2 「地域脱炭素とまちづくり」
公益財団法人北海道環境財団・環境省脱炭素まちづくりアドバイザー 宇山 生朗 氏
 - ・参加者：市町村職員11名



情報資料等提供事業

Informative Material Provision

市町村の振興に必要な情報収集や資料の整備を図り、政策情報や行政関係資料・情報を提供します。

- 市町村ライブラリーの提供

行政関係図書・資料等を整備し、市町村職員等の情報収集の場として提供します。

- 市町村政策情報誌「プラクティス」の発行

市町村職員の政策形成能力の向上に資するため、道内外の先進事例など実践的な政策情報等を掲載した政策情報誌「プラクティス」を年2回発行します。

- 北海道市町村要覧の発行

道内全市町村の人口や産業構造、財政状況等基礎的なデータをまとめた「北海道市町村要覧」を発行します。

令和5年度の主な事業紹介 | Major Projects in FY 2023

市町村政策情報誌「プラクティス」の発行（年3回、A4判5,000部／回）

情報を収集するとともに行政関係図書・資料を整備し、市町村職員等の情報収集の場として提供しました。



令和5年5月発行



令和5年10月発行



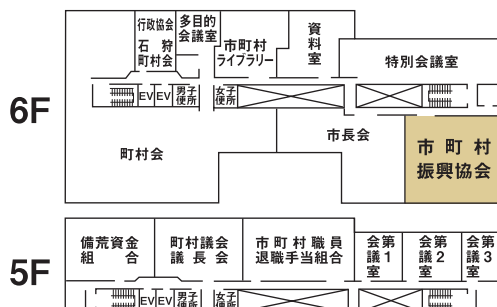
令和6年2月発行

北海道市町村要覧の発行（令和5年9月発行、A4判1,500部）

道内市町村の人口や産業構造、財政状況等の基礎的なデータを取りまとめた「北海道市町村要覧2023」を発行しました。

北海道自治会館を管理運営しています

当協会が区分所有する北海道自治会館の一部（下図参照）を、北海道市長会、北海道町村会などの自治関係団体に
対し無償貸与するとともに、会議室及び駐車場等を無償でこれらの団体の利活用に使っています。



令和6年度サマー&ハロウィンジャンボ宝くじ!



サマージャンボ、ハロウィンジャンボ宝くじ等の収益金は、都道府県ごとの市町村数、人口、販売額に応じて配分され、「市町村の明るく住みよいまちづくり」に使われます。北海道内の宝くじ売り場または宝くじ公式サイトでお買い求めください。

サマー ジャンボ宝くじ

市町村振興宝くじ

発売期間

7月

8日
(月)

8月

8日
(木)

ハロウィン ジャンボ宝くじ

新市町村振興宝くじ

発売期間

9月

17日
(火)

10月

17日
(木)

宝くじ
公式サイト

すぐ買える 当たりがわかる クイックワン

QuickOne
クイックワン



宝くじ
公式サイトで
発売中!

公益財団法人 北海道市町村振興協会

〒060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目 北海道自治会館 6階
TEL (011) 232-0281 FAX (011) 221-5866
ホームページ <https://www.do-shinko.or.jp/>

Hokkaido Municipality Promotion Foundation

Hokkaido Jichi-kaikan Bldg. 6F
Kita 4-Jo Nishi 6-Chome, Chuo-ku, Sapporo 060-0004 JAPAN
Tel: +81-(0)11-232-0281 Fax: +81-(0)11-221-5866
Website: <https://www.do-shinko.or.jp>

